

マスク着用の考え方（全体）

	身体的距離を確保できる (2 m以上を目安)		身体的距離が確保できない	
	屋 内 (注)	屋 外	屋 内 (注)	屋 外
会話を行う	 着用	 必要なし	 着用	 着用
会話をほとんど 行わない	 必要なし	 必要なし	 着用	 必要なし

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※ 夏場は、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要なし」場面で、マスクを外すことを推奨

※ 高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクを着用する(不織布マスク推奨)

学校等におけるマスク着用について

学校生活の場面	マスク着用の有無
身体的距離が十分に確保できないとき ※ 屋外で会話をほとんど行わないことが想定される教育活動を除く	 マスク着用
十分な身体的距離が確保できている場合 (登下校等)や体育の授業	 マスク着用は必要なし
運動部活動での練習場所や更衣室等、 食事や集団での移動	 マスクの着用を含めた 感染対策の徹底
気温・湿度や暑さ指数が高い夏場	 熱中症対策を優先し マスクを外す

※ 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル等を踏まえた対応を基本とする

※ 運動部活動でのマスク着用は、接触を伴うものをはじめ活動の実施に当たっては、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応

保育所、認定こども園等におけるマスク着用について

2歳以上の就学前の子どもについては、オミクロン株への対応として、令和4年2月から保育所等において、可能な範囲で、一時的にマスク着用を奨めてきましたが、今般、この取扱いが2月の変更前に戻ります。

子ども	マスクの着用について
2歳未満児	マスク着用は奨めない 
2歳以上児	個々の発達状況・体調等を踏まえ、身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律に求めない 



※施設内に感染者が生じている場合などにおいて、施設管理者等の判断により、可能な範囲で、マスク着用を求めることは考えられます。この場合でも、マスク着用を無理強いすることにならないよう、マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。